

グロリオサ
Gloriosa spp.
(ユリ科)

塊茎で繁殖する蔓性の球根植物である。品種は、中心が黄色で赤の花弁をもつロスチャイルディアナとクリーム色の花弁をもつルテアに分かれる。茎先端部各節に小花を1花着生し、基部の小花から開花する。エキゾチックなイメージがあり、高温にも強い。葉が傷みやすく、また先端の巻きひげで小花にからみつく。品質保持剤の処理はあまり有効ではない。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
小花の開花	老化していない開花小花が C: 3輪以下となる D: 2輪以下となる	花被が十分に着色して戻った段階(写真B)を開花小花とし、花被が水平になって退色した段階(写真C)および萎れて乾燥した老化(写真D)を老化小花として判定する。
葉の萎れ	触ってみて A: 張りがある B: やや軟となる および視覚的に C: 萎れる D: 葉が垂れ下がり激しく萎れる	
葉の褐変・壊死	A: 褐変なし B: 褐斑が一部の葉で発生する C: 褐斑が拡大し、壊死状態となる D: ほとんどの葉に褐変・壊死が発生する	褐斑は葉の先端部で出やすい。基部葉から出るとは限らない。
葉の黄変	A: 黄変なし B: 一部の葉で黄斑が発生する C: 黄斑が葉全体に広がる D: 黄斑部に褐変が生じる	
軟弱茎	A: 直立する B: わずかにしなる C: 大きくしなる(45°以上) D: しだれるあるいは折れる	
その他	茎の腐り、灰色カビ病、病害虫など。	

2) 留意点

生け水には水を用いる。

葉が傷みやすいので、下葉は取り除いてから生ける。

先端部の開花が見込めない小花は茎葉ごとつみ取り、小花数(開花小花および蕾数)を数える。品質評価開始後、開花小花および老化した小花数を数える。

花被は戻って開いた後、ほぼ水平に戻った段階で退色し、その後乾燥壊死する(写真参照)。

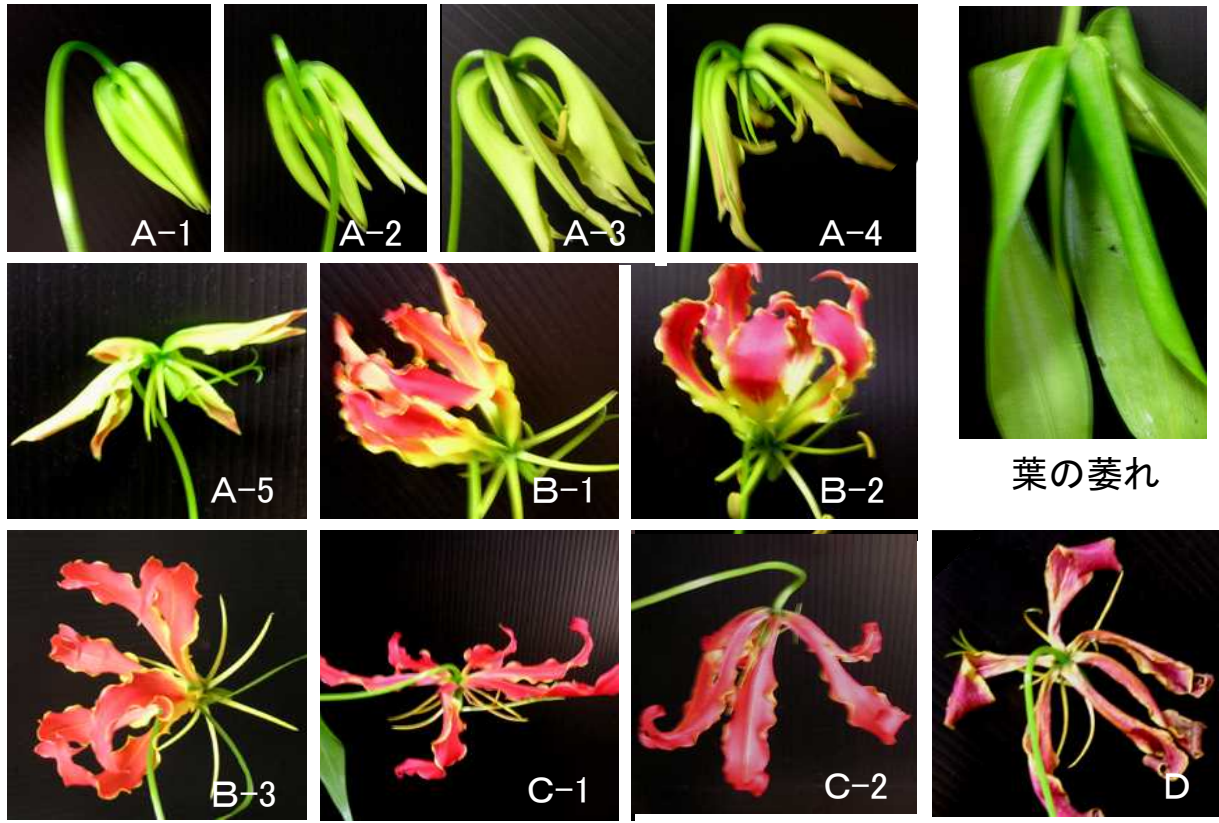
花粉は付着しやすく汚れの原因になるので、小花が開花したら薬を取り除くことが望ましい。

小花にからみついた巻きひげは切る。

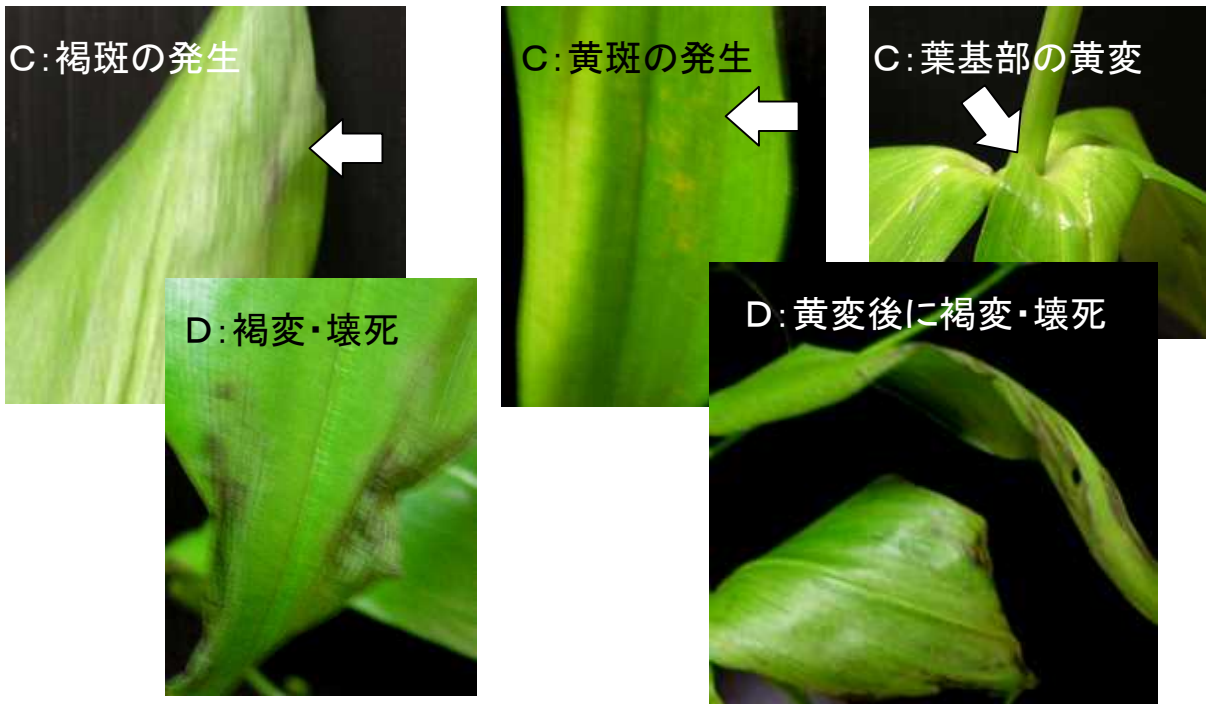
3) 開花



4) チェック事項



小花の開花・老化



葉の黄変・褐変